

## 南部地域整備基本計画の策定に先立つ説明会：議事録（要旨）①

日 時：平成20年8月8日（金）午後7時～午後8時45分

会 場：石神集会所 2階集会室

参加者数：8名

主な意見

### 【基本計画について】

- ・基本計画の策定はすぐにまとまる作業とは思えない。  
市民参加は、アンケートや説明会で市民の意見を取り入れるとのことだが、南部地域のことは、南部地域の市民の意見を聞き、まとめていくことが大切だと思う。
- ・市民の意見をしっかりまとめて、この基本計画を成功させてほしい。
- ・市は、市民参加、市民参加というが、南部地域の住民の意見を重視してほしい。  
計画づくりは地元によく説明して進めなければいけないと思う。
- ・基本計画を作成しても絵に描いた餅とならないようにしてほしい。

### 【道路整備について】

- ・市が管理する道路の整備は進んでいない。

この計画には市道の整備は含まれていないのか？

市：狭隘道路の整備として市道の整備に対する考え方も示す計画を考えている。

- ・日野バイパスが整備されたことにより、狭い石神道（市道南第29号線）へ車の流入が大量に増加したが、道を拓げるのが20年後になるのか、という程度にしか見えてこない。石神道のような具体的な問題を解決せず、このような基本計画を作成してもあまり希望がない。

市：石神道は、都市計画道路に指定されており、平成18年に、今後10年以内に優先的に整備すべき路線に位置づけられた経過がある。

- ・市は、今でも都市計画道路整備を従来の計画通りに進めることが可能と考えているのか？市だけで整備していこうと考えないか？

市：都市計画道路を進めることができるのかは、今後検討していく必要があると考えている。都市計画道路の整備は、財政的に難しいため、国や都からの補助を受けながら実施することとなる。

- ・市が部分的に道路整備をすることは考えないのか？

市：不要となった赤道を付替することにより、部分的だが道路拡幅を進めている。

- ・石神道（市道南第29号線）は、今から8年のうちに具体的な対応が見えるのか？

市：今から40年前に整備することを決めた路線のうち約50%が未整備のままに残っている状況であるため、整備を進めるために計画的に10年単位で優先順位をつけたところである。その整備手法や都市計画道路でない道路は、今後検討していく必要があると考えている。石神道は、現在、地権者の協力により車の退避場ができ、すれ違えるようになってきているが、課題があることは認識しているので、幅員を

16mではなく8mや6mなど、歩道設置の必要性など、地元と話し合いをすることが必要と考えている。

- ・20年前にすでに話し合いを行ったが一向に進んでいない。
- ・ヤクルト研究所の建て替えが終わると従業員が増え石神道のタクシー量も増えることが想定される。通学路にも指定されているので、狭隘な石神道の整備を本気で考えてほしい。
- ・予算のない国立市が、狭隘道路の整備といっても実現するか疑問である。
- ・石神道を一方通行にするのも一つの方法であるが、道路に面する地権者が不便になることもある。
- ・都市計画道路の整備ありきの時代ではないと思う。甲州街道で、府中方面に向かってトヨタ前交差点から千丑道（市道南第30号線）へ右折可能にすれば、石神道の交通量も減るのではないかと思う。昔、要望したが実現しなかった。甲州街道が国道から都道になり交通量も減ったので、実現できないか？

市：要望された当時の実現できなかった理由等を把握していないので、確認して後日回答する。

（後日回答）トヨタ前交差点における甲州街道からの右折については、すでに立川警察署に要望を行っている。

- ・都市計画に頼っていると、また20年30年が経ってしまうので、違う方法で道路整備を考えてほしい。不可能な計画なのに図面があると、いつか実現するのではと希望を持ってしまう。

市：南部地域の基本計画は、全体的な方向性を決めるために、市民の皆さんの意見やニーズを聞いて優先順位をつけることが第一で、実施はその次の段階になる。

- ・農道改修事業による登記等の手続きが未完の場所の整理をしてほしい。
- ・矢川上公園はどうにかしなければと思う。

矢川駅南や谷保駅南にしてもどうにかしなければいけないと思うが、整備するのは大変なことと思う。立川市は再開発事業として駅前を整備したので、土地区画整理事業が進められればよいと思う。

- ・「地域別におけるまちづくり計画」の中に、「緑をはぐくむ計画、水をはぐくむ計画」とあるが、まずは安全な道路を整備してからの話であり、緑や水は二の次、三の次である。水路は蓋をして道路とした方がよい。水の管理には費用がかかる。

市：道路整備は優先と考えている。

#### 【町名地番整理について】

- ・町名地番整理の素案はできているのか？

市：平成2年に南部地域の町名変更の提案を答申としていただいている。

- ・市民：行政は、道路で町名を分けてしまうが、住民としては、道路向かいの昔なじみと町名を分けられると困る。

市：近隣市で町名の境を道路で分けた場合に不便が生じたかどうか、聞き取り調査を行

い、特に不便はないということであったため、国立市でも町名の境は道路で分けることで考えている。

・市民：町名地番の整理は、いつ実施するのか？

市：土地区画整理事業が完了した地区を優先的に実施しているので、現時点では石神周辺の町名地番整理の時期は、未定である。

・米池の町名は、地元でもどうかという意見もある。

市：南部地域の基本計画のなかで方向を示していきたいと考えている。

以上